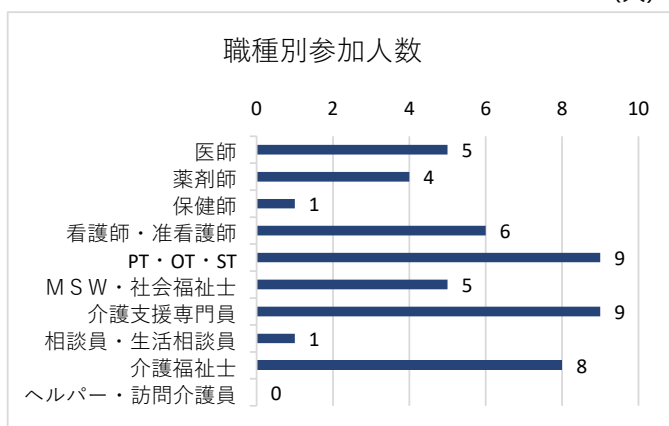


研修参加者75名（ファシリテーター、記録、事務局含む）

アンケート対象人数	68
アンケート回答者	56
アンケート返却率	82.3%

(1) アンケート回答者(人)

(人)



(2) 医療・介護・福祉の連携について課題と思うことを記載して下さい。

【医師】

- ・専門医受診のハードル、早期発見、地域の中の見守り。
- ・多忙で連携が十分とれていない。
- ・情報の共有。
- ・各職種間の連携不足。

【保健師】

- ・多職種の方がざっくばらんに話せるようになること、今日のような会が何度かあるといいなと思います。

【看護師・准看護師】

- ・もっと関われる場所があるといいと思う。
- ・連携するためのネットワーク。
- ・医療・介護・福祉それぞれの分野を少しずつ勉強、研修できないこと。
- ・専門職同士の繋がり。相談というか話せる仲間作り。
- ・ご家族と本人の思いに寄り添い、連携を図っていく。

【理学療法士・作業療法士・言語聴覚士】

- ・情報不足、相談の場が少ない。
- ・医療・介護職でも認知症の方を見つけた時にどこに繋がれば良いかわからない方もいるようなので一般の方は更に分かりにくいのではないかと思います。
- ・それぞれの職種で困ったことを気軽に話せたらいいと思う。
- ・多職種連携が難しい。
- ・介護者の知識、理解不足。
- ・求める（必要とする）情報が異なること。
- ・経過が分かる連携パスみたいなものがあると支援に役立つと思う。
- ・顔の見える連携の重要性を感じました。

【社会福祉士・医療ソーシャルワーカー】

- ・情報共有のしづらさ、制度の狭間等。
- ・もっとお互いの職種の事が分かっていたらどこに相談したら良いかわかり、連携がスムーズになると思います。
- ・他職種連携。
- ・相談員がいない病院には相談づらい。
- ・それぞれの視点があり今はその視点を把握できていない。今回のグループワークで少し知ることができた。

【介護支援専門員】

- ・入院中の連携や退院時の連携は取りやすいが、その他の時に相談しにくいことがある。
- ・医師にどのタイミングで相談に持っていくべきかわかりません。
- ・相談の壁はあるかなと思いました。
- ・医療・介護・福祉の連携を図ることでより良い支援ができると思う。
- ・職種によって時間の使い方がそれぞれ違うと思うので、職種の特徴を知った上で連携するのが理想と思った。

【介護福祉士】

- ・遠方にいる家族との関わり方が難しくなっている。
- ・定期的に連携の機会があるとありがたい。
- ・多職種に質問出来る時間がなかなかないので、すぐに質問等が出来る対策をしたら良いのではないかと思います。
- ・ケアの統一が難しい時がある。
- ・連絡や報告をきちんと取り、次に繋げていく。

【管理職】

- ・自分の仕事以外のことも理解していくことが大切だと思います。
- ・どの段階で支援チームに相談していいかわからない。気をつかってしまう。
- ・なかなか言い難いこともあり本当に難しいです。

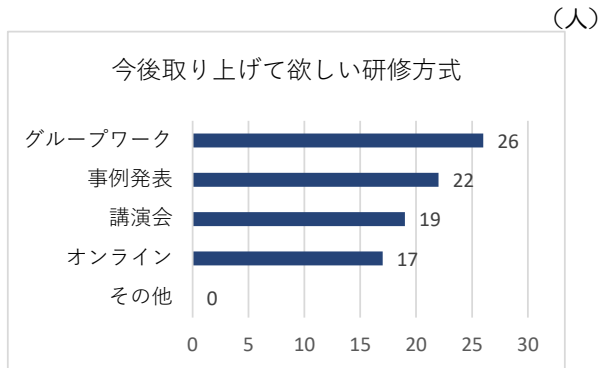
【事務職】

- 密な連携を取るのにハードルが高いのだからこそ、他職種連携が大きいと感じます。

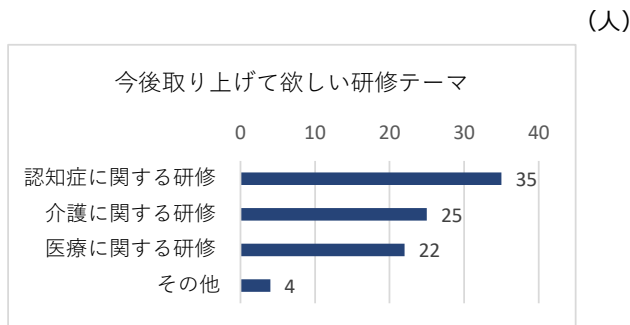
【その他】

- お互いの役割、顔は何となくわかっているが、いつ、どの場面で相談して良いのか？という所。結局は知っているだけで、電話できる関係になっていないのかな。
- 同じ職種同士の連携がしっかり出来ていないと他の職種の連携は難しい。横繋がり的重要性が大切。
- 医療と福祉の壁。

(3) 今後、取り上げてほしい研修会的方式をお選びください。 (複数回答あり)



(4) 今後、取り上げてほしい研修会のテーマをお選びください。 (複数回答可)



【その他内容】

- 障害→介護のサービスの切り替え。
- 感染症。
- 施設訪問して研修会を行ってほしい。

(5) 本日の研修会で印象に残ったこと、ご意見・ご感想を教えてください。

【医師】

- 認知症に関わる医療者の多種多様な意見が聞けて良かったです。
- 多岐の問題点が多く纏まるまでに至ってない。各自、個別に難問例を抱えていることが判った。今後もグループワークは必要でしょう。
- 模擬事例での多職種連携により、本人のQOLが維持できた事。多職種の専門職の人達の率直な意見を聞く事が出来て良かったです。
- 直接外来で認知症患者に接していないので支援等は出来ない。

【薬剤師】

- 他職種の現状が聞けて良かったです。本人の意見と家族の意見のすり合わせが大変だなと。現場でややあぶない人（認知症ほい方）が出てきたら今回の連携に繋げていきたいと思います。
- 他の職種の方のご苦労、仕事の事を伺うことが出来るとても有意義な会でした。顔の見える関係性はとてもいいと感じました。
- 植山先生の最期の挨拶が心に残りました。先生ともっと話をしないといけないと思います。

【保健師】

- 今日のように顔を合わせて話ができることが大切だと思います。グループワークがとても良かったです。

【看護師・准看護師】

- 地域の連携が認知症の方を皆で支えていく上でとても重要だと。普段、施設の中の業務が中心でいるので改めて学びました。
- 多職種ならではのそれぞれの分野の意見を聞けて良かった。
- 職種や立場、環境から認知症に対する対応や考え方家族との関わり等知らない部分の話も沢山聞いて楽しかったです。
- 皆さんと同じ思いということが分かり、同じ悩みがあることが分かりこれから分かったことに対して何かできたらと思った。
- グループワークにてそれぞれの職種の考え方を知ることができ、大変勉強になりました。

【理学療法士・作業療法士・言語療法士】

- 認知症を持つ方の意見を聞くことが出来て良かったです。
- 事例検討ではないグループワークは経験した事はありませんでしたが小グループで様々な意見を聞く事ができとても有意義でした。特に薬剤師の方と色々話す機会がなく良かったです。多職種で普段感じていることを話す機会は必要だと感じました。
- 様々な職種の方と意見を交換して、その職種の困り事について聞く事ができて良かったです。
- たくさんの意見を聞けて良かったです。これから頑張っ活かせていけたらと思います。
- 退院後の食生活の支援の行い方、受診拒否する人への対応と説明の仕方。
- 様々な職種の意見を聞いて参考になりました。
- 多職種の意見が聞け、参考になった。今後も活かしていきたい。
- 院外の方の話を聞かせてもらい、共感できる部分や気づきを貰ったりさせてもらいました。今の自分に共通していることも話の中で出てすごく勉強になりました。
- 困っている事の題で、題を言うだけになってしまい実際には解決策が出なかった。

【社会福祉士・医療ソーシャルワーカー】

- 様々な職場から様々な職種の方が集まり、必要だと思っている事や困っていること大切にしている事等気づきを得られる事が多かった。顔の見える関係づくりという面でも有意義であったと思う。
- 今回のグループワークにより多職種の意見、困難事例を共有することができ、今後の支援に活かせるのではないかと思います。
- 同じ職種、分野の方とのグループワークが多いので、他職種の方の話が聞けて良かった。特に医師の話聞いたのは貴重な体験でした。
- お互いの認知症の方に対する想いは共通していた。意見交換する中で各々の視点が少しわかった。
- 相談員がいない病院には連絡がしづらい。
- 同じ職種・分野の方とのグループワークが多いので、他職種の方の話が聞けて良かった。特に医師の話聞いたのは貴重な体験でした。

【介護支援専門員】

- ・グループ内での意見交換でとても参考になりました。認知症の方の対応で、どのような生活を送ってきたかの支援シートを作成して、皆で統一して取り組んでいるという意見が特に印象に残りました。
- ・医師にも気軽に話が出来て良かった。
- ・とても勉強になりました。
- ・認知症をテーマに、多職種の方の生の意見が聞けてとても参考になりました。
- ・認知症についてどうしたら良いか・・・と思う事を多職種の方と話すことで色々な意見を聞く事が出来た。
- ・18分のワークに最初は途方に暮れていたが気付けば経過していた。参加者はそれぞれのスタンスで認知症の人と接しているが「受け止める」「その人を知る」姿勢で向きあっていることは共通している。専門職間の研修グループワークは多いのかも知れないが、多職種集まって話し合える機会はまだまだ少ないのではと思う。この会を通していろんな意味でお互いの刺激になれば良いと思う。医療職の力を借りたい旨は意見としてあがり、医師も直接話を聞く事が実際あるのだろうかと感じた。
- ・医療・介護・福祉の横の繋がりの難しさを感じます。それぞれの役割がある中で、本人にとってよりよい支援を考えている。皆で一緒に考えていけたらと思います。
- ・今回、多職種の方の思いを聞く事ができとても勉強になりました。本人・家族の思いを傾聴しながらお互いの思いのズレを合わせていることを知り、本人の視点に合わせて、家族の認知症の方と接する際本人に併せての対応想いを聞きながら支援に当たっていると感じました。多職種の方と話すことで、それぞれの視点で考え方は違うが基本的な想いは同じだと感じました。先生の考えも聞く事ができて今後の支援で必要な情報以外にも、入院時など、その時の状況に応じて不安の様子も伝えていくことが必要だと感じました。

【相談員・生活相談員】

- ・多職種の意見を直接きけるのが新鮮でした。

【介護福祉士】

- ・独居、高齢者世帯が増加する中で、認知症の方が増加している。今後、行政との取り組みが大切だなと感じました。
- ・色々な職種の方と関わられた意見も聞けて大変良い時間でした。
- ・多職種の方々と様々な意見交換ができてとても勉強になりました。
- ・多職種の方から自分にとって大切であると思う意見を聞く事が出来て良かったと思います。研修に参加できて良かったと思います。
- ・職種別になっていたのもそれぞれの問題等が出たりして良かった。

【管理者】

- ・認知症ケアに対する多職種の様々な意見を聴けて勉強になりました。
- ・他の職種の方の意見は聞けて良かったと思います。認知症は難しいと改めて思いました。
- ・まず関わりを始めたなら支援シートを作成し、本人・家族等の情報の把握を行っている事業所さんがあった。色々と話を聞けて良かった。自分が行ってる介護支援について聞いてもらえて良かった。

【事務職】

- ・グループワークでは時間を追うごとに沢山活発な意見を聞く事ができてとても有意義でした。

【その他】

- ・グループワークを行う事で自分たちの思い（理想や困り事）を話すことが出来た。他者の考えを聞く事で新しい発見や改めて考え直す部分もあったように思う。グループ内の方全員が「本人視点の支援を・・・」と思っているが難しいと言われていた。職種ごとに色々な工夫をケアにあたっているという話も聞いた。話をする事でお互いの役割を知ることができたこと、皆思いは一緒だけどうまくいかない事があると云うことも知ることができた。皆の思いが同じなら連携がうまく行けばより良い支援ができると思った。
- ・「認知症」の方に対する接し方が職種によって少し違う。病院、施設通所でいろいろな方向から見てその人にとって何が必要なのか。本人さんの気持ち、家族の思いなど、周りの環境にも配慮して連携を取る難しさなど知りました。全ての方が本人さんの気持ちを一番に考えて接しているという事。それが一番大切だと感じました。
- ・それぞれの職種の方から認知症を患っている人に対する想いを聞く事ができ、ほぼ同じ視点で接していることに気付くことができた。